No.(1)

2025 年度(令和 7 年度)学校評価自己評価表

 向丘中学校区
 校番 8
 福山市立向丘中学校

 最終更新日
 2025年(令和7年)9月19日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。 ビジョン 各中学校区・学校が、資質・能力の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、 日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

Ⅱ 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容

・思春期の子どもたちを指導するの は大変だと思いますが、「主体性」 と「感謝する人間力」を育む教育 を引き続きお願いします。

児童生徒の現状

- ・行事や各取組において、挑戦した い内容を協議した上で、仲間と実 現を目指す姿勢が見られる。
- ・学習に粘り強く取り組む生徒が増 えてきた。
- ・個々の様々な状況が要因となり長期欠席に陥る児童生徒が増えた。

| : | 育成する 資質・能力 | 主体性、自己理解、課題発見・解決力 |
|-------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) | 人とのかかわり合いを大切にし、学ぶ意欲を持ち、自分の生き方を主体的に考える子 ども |
| | 中学校区として | ○自校の取組を深く理解し、自主性・主体性を発揮し、「子ども主体の学び」の実現に向けて取り組む。 ○各校の実践や研究についての交流を深め、職員の主体性の向上や意識改革を図る。 ○お互いの具体的な実践交流から課題意識、自己研鑽の意欲を持ち、個人的に授業参観、 放課後の相談等の教職員が起点となる研修を推進する。 |

Ⅲ 自校

ミッション

「自校や郷土に愛着と誇りを持ち、仲間とともに貢献する生徒を育成する。」

学校教育目標

「感謝感動の心と貢献する心を大切に持ち続けることができる生徒の育成」

現 状

<児童生徒>

- ○教育面談週間の推進で、教師との信頼関係が積みあげられている。
- ○「きらり」の推進により、公的貢献意識および自己有用感が高揚している。
- ○他者の意見へ依存する傾向があり、自らの考えを深めたり、広げたりする経 験が少ない。

<授業>

- 〇単元を通しての問いや見方・考え方、活用方法などを積み重ね探究することにより、生徒の主体的な学びの姿が見られるようになってきたが、全国学力・学習状況調査の正答率が県市平均より低く、基礎学力の定着に課題がある。
- ○定期考査前には補習教室を実施したり、タブレット端末を活用したりして 個々の学びの状況に応じた学習の展開ができている。また、長期休業中には 自主学習のための教室解放により、学びの集団ができてきた。

| ● 育成する 資質・能力 | | 〇自らが求め挑戦する力 〇出会う課題に向き合い解決する力 |
|--------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| めざす 子ども像 | | ○夢と志を語り、新たなことへ挑戦する生徒。 ○自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる生徒。 ○人を大切にし、他者との良好な人間関係を築くことのできる生徒。 |
| | テーマ | 毎日の授業の中で、「生徒が学びの価値を実感できる授業」を全教科で推進 |
| 研究 | 内容等 | 〇全生徒を対象とした教育面談週間を設定。 〇生徒及び教師がともに挑戦する授業を展開。 〇特活を起点に据えた共感的・協働的な学びの場を設定。 |
| めざす授 | 業の姿 | ○生徒も教師も一生懸命に授業に取り組んでいる。〈基礎基本の定着〉※基礎学力の定着に向けて繰り返し学習を推進。○生徒が見方や考え方を探し、思考表現している。〈主体的な学び〉○指導と評価の一体化を図り、生徒が「学びの価値」を感じられる授業を行う。〈進路実現〉 |

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 向丘中 学校

| | IV 日信・取組及び評価指信等の設定と評価 | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------------------------|----|--------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------|--|------|
| | | | | | | | 中間評価(10月1日) | | | | 最終評価(2月末) | | | |
| É | 中期経営目標 | 重点 | 分 類 | 短期経営目標 | 目標達成に 向けた取組 | 評価指標 ●校区共通 | 口指標に係る 取組状況 | プロセス 評価 | 達成評価 | 改善方策 | | コセス達成 4価評価 | | 改善方策 |
| (3) | 「学びの価値 が実感できる | * | 継続 | 授業改善に取り 組み、子ども主体 の学びを実現す る。 | ・授業で学んだことの興味や疑問を探求し表現する時間を各単元題材において設定する。 | ●生徒アンケート 「授業で考えることは面白い」と感じている生徒の肯定回答を全教科で70%にする。 (前年度62%) | 生徒 (| 3 | 4 | 日まや科付い自然をはいる。また、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、おいりのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは | | | | |
| | 授業」の実現 | | 継続 | 基礎学力の定着 とともに、発展・ 活用的な課題へ 挑戦する意欲を 養う。 | ・入試問題や発展的、活用的な課題で単元を単元を実施を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を | ・挑戦問題におい て無解答の生徒 を、全教科25% 以下にする。 | 挑戦問題におい て生徒の無解答 率は 13%であ った。 | 3 | 4 | 学つのときというできます、着をはいません。というでは、活用のできるでは、できないできない。これでは、できないできないできない。 | | | | |
| 3 | 「自律・貢献」 できる生徒の 育成 | * | 継続 | 生徒の自己肯定 感を育み、自己実 現に向けた意欲 を向上させる。 | ・生徒が主体となる「特別」を通びでは、 を通びな実とでは、 を通びな実とでは、 を充す、 を充りでは、 をでしている。 を行う。 | ・生徒アンケート 「自分のよさは まわりの人から 認められている と思う」肯定回答 を85%以上に する。 (前年度80%) | 生徒アンケート 「自分のの人からい。 認められていら と思さは 85%で 回答は 6前年度 7月 81%) | 3 | 4 | 「きない。 りのでは、 りのでは、 りのでは、 りのでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に | | | | |

| | | * | 継続 | 生徒一人一人を大切にした個別支援の充実を図る。 | ・欠席等、 ・欠に ・欠に ・欠に ・欠に ・でに ・では ・では ・では ・では ・では ・では ・でに ・でに ・でに ・でに ・でに ・でに ・でに ・でに | ・長期欠席者の出 現率を6.0とす る。(前年度6.8) | 長期欠席生徒は 8月末段階で 12人。出現率 3.2だった。 (前年度4.0) (新規長欠者2 人) | 3 | 4 | 担任が個別問題をはいるのでは、会のでは、会のでは、会のでは、会のでは、会のでは、会のでは、会のでは、会 | | |
|---|--------------|---|----|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----------------------------------------------------------------------|--|--|
| 3 | 学校組織力の 向上 | * | 新規 | 教職員同士が分 掌・学年の枠を越 えて協働し、職員 室内の同僚性向 上を図る。 | ・主任主事を中心 に、業務の可視 化を図り、全教 職員が見通し を持って業務 にあたる。 | 教職員アンケート「自分の挑戦に対して協働してくれる仲間がいる」 肯定的回答75% (前年度68.8%) | 企画を 会を 会を 会を の の の の の の の の の の の の の | 3 | 2 | 学年行事や教科 の取組を職員室 内に集約し明示 する。他学年し、 横の連携が活性 化できる。 整える。 | | |
| | · 1 | | 継続 | 教職員が主体性 を発揮し、やって みたい実践を実 現できる学校づ くりを推進する。 | ・特活や行事の充 実を図る。子ど も達と共にる 戦し続ける環 境を構築し、 成感を学校全 体で共有する。 | 教職員アンケート「仕事にやりがいを感じている」 肯定的回答75% (前年度68.8.%) | 2年企業講話など、 新たな教育活動を 実践できた。 教職員アンケート 肯定的回答は 47.1%だった。 | | 2 | 各学年の取組内容を全体共存を を特に成果を あげたものはけた 次年度に向けた カリキュせて 反映 く。 | | |

| r ⊸∘ | 7 - | - | =:::: | /π• | σ | =:::: | /TT* - | - V/H | ÷٦. |
|------|---------|-----|-------|---------|----------|-------|--------|-------|-----|
| . / | 77 | - ' | 三半 | litti i | (/) | 三半, | 1mm - | 甚進 | Ξ. |
| | | | | | | | | | |

| 評点 | 評価基準 | | | | | | |
|----|------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 5 | 取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、 問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。 | | | | | | |
| 4 | 取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が 生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。 | | | | | | |
| 3 | 取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化,問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。 | | | | | | |
| 2 | 取組の目的に対する共通理解が認められ難く,状況の変化,問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。 | | | | | | |
| 1 | 取組の目的に対する共通理解が認められず,状況の変化,問題 が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。 | | | | | | |

[達成評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準 |
|----|------------------------|
| 5 | 目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。 |
| 4 | 目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。 |
| 3 | 目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。 |
| 2 | 目標を下回り、成果よりも課題が多かった。 |
| 1 | 目標を大きく下回り、成果が認められなかった。 |
| | |

[総合評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準 | | | | | |
|----|---------------------|---------------------|--|--|--|--|
| 5 | 100%以上の達成度 | 十分に目標を達成できた。 | | | | |
| 4 | 80%以上100%未満 の達成度 | 概ね目標を達成できた。 | | | | |
| 3 | 60%以上80%未満の 達成度 | ある程度目標を達成できた。 | | | | |
| 2 | 40%以上60%未満の 達成度 | あまり目標を達成できな かった。 | | | | |
| 1 | 40%未満の達成度 | 目標を達成できなかった。 | | | | |